

第 65 代会長 杉田 祐一

第 65 代幹事 木村 信一

painted by Kenzo Tanaka

ロータリーの
マジック

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2024 年 12 月 12 日(木) 第3087回例会 天候:晴れ 司会:小澤雅彦副幹事 No. 21

=本日の例会行事=

- ◇歌唱 「我等の生業」「覇気あれ我クラブ」 ◇会長挨拶 ◇幹事報告
- ◇IMキャラバン ◇表彰 [ポール・ハリスフェロー/ポリオプラスソサエティ会員登録]
- ◇卓話 大箭剛久君 『3年間の目標と計画 3-year Rolling Target / Plan』

◎ゲスト・ビジター紹介

高橋孝司様 (ガバナー補佐・綾瀬RC) 田中伸宜様 (綾瀬RC IM実行委員長) 平本康雄様 (ガバナー補佐幹事・綾瀬RC)

◎IMキャラバン

◎表彰

ポールハリスフェロー 木村邦佑君・大竹孝一君・橋本正一君 (PHFビン+1 授与)

ポリオプラス・ソサエティ会員登録 大箭剛久君

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より ◇国際ロータリー第2780地区2027-28年度ガバナー・ノミネー確定宣言 前田長生会員(横須賀RC) ◇決議審議会立法案(決議案)提出の依頼について 締切日…2025年2/28(金) ◇地区立法案検討委員会セミナー開催のご案内 ●2025年1/24(金) ●第一相澤ビル「会議室」 ◇青少年交換 派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのご案内 ●2025年1/11(土) 合同オリエンテーション…15:00 派遣候補生のアプリケーション確認…16:30 ●第一相澤ビル8階「会議室」 ◇2025-2026年度 実施年度向け 第2回地区補助金説明会のご案内 ●2025年1/25(土) 14:00~16:00 ●第一相澤ビル8階「会議室」 ●申込締切…1/14(火)

◆茅ヶ崎市より ◇茅ヶ崎市消防出初式 ご臨席の依頼 ●2025年1/12(日) 9:30

●第一部…茅ヶ崎市役所1階ふれあいプラザ ●第二部…茅ヶ崎市総合体育館前庭

◆タウンニュース (タウンニュース×茅ヶ崎警察署 保存版 安心・安全特別号…茅ヶ崎RC協賛)



ポールハリスフェロー表彰 左から木村邦佑・橋本・大竹の各会員。右下はIMキャラバンの高橋 AG と田中実行委員長



上) 12/14(土) 開催の子ども食堂
右) ポリオプラスソサエティ会員登録の大箭会員



出席報告 上原幸作会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
12/12	3087	46	43+2	34	2	9	80%	
11/28	3085	46	43+	33	0	12	73.33%	73.33%

スマイル報告 宮本英義会員

杉田祐一君&木村信一君 ポリオプラス・ソサエティー
大箭剛久さん、マルチプルポールハリスフェロー2回 横
山貢さん・古知屋光洋さん、ポールハリスフェロー 木村
邦佑さん・大竹孝一さん・橋本正一さん、誠におめでとう
ございます。(本来であればまこと会計だけに、と言いたい
ところですが、お時間の都合上省略させていただきます)
我々もポール・ハリスにちなんでプーロポリスでも飲んで、
もう少し頑張らなあかなって話してるところです。(ズ
ッコケて下さい) 大箭さん卓話よろしくお願ひ致します。
高橋孝司様(綾瀬 RC・第4グループ AG) 来年2月15日
(土)に開催される IM の PR に伺いました。皆様とお会
いできるのを楽しみにしております。

平本康雄様・田中伸宜様(綾瀬 RC) 本日は 2025年2月
15日(土)に開催します IM のキャラバンに参りました。
多くの会員様にご参加いただきますよう、よろしくお願ひ
致します。

加藤 寛君 ごぶさたです。

田中賢三君 高橋ガバナー補佐、平本補佐幹事、田中さま、
たいへんお世話になっており、有難うございます。田中 IM
実行委員長、御苦勞様です。よろしくお願ひします。表彰
のみなさまおめでとうでございます。大箭さん、今日の卓話
よろしくお願ひします。

成田栄二君 IM キャラバンの綾瀬クラブの方々ご苦勞様
です。所用により早退します。

和田幸男君 IM キャラバンの綾瀬 RC 高橋 AG、平本 AG
幹事、田中 IM 実行委員長、ようこそいらっしゃいました。
大箭さん、卓話よろしくお願ひします。

中山富貴子君 高橋ガバナー補佐、平本補佐幹事、田中さ
ま、ようこそお越し下さいました。表彰の皆様おめでとう
ございます。大箭さん卓話よろしくお願ひします。

吉田恵子君 ガバナー補佐高橋様、補佐幹事平本様、田中
さまようこそ。表彰される皆様おめでとうでございます。

大箭剛久君 じょにいさん、卓話よろしくお願ひします。

杉本剛昭君 IM キャラバンのみさま、ようこそお越し下
さいました。表彰のみなさまおめでとうでございます。大箭
さん、卓話楽しみにしています。先日 FM ヨコハマの収録
に行ってきました。パーソナリティの美しさに惹かれてい
るうちにいつのまにか終わってしまいました。できればや
り直したい。

木村邦佑君 私事ではありますが、5日前の朝、急激にみ
ぞおちあたりに刺されたかのような激痛が走り、しゃべる
こともできず、冷や汗で上着はびしょびしょ、1時間ガマ
ンしましたが、痛みが左胸にズレてきたので、心臓だとマ
ズイと思い 119番に電話、救急搬送されてしまいました。
心電図、CT検査の結果、尿路結石でした。あー痛かった。
綾瀬 RC 高橋様、平本様、田中様ご苦勞様です。健康には
気をつけて下さい。

橋本正一君 ゲスト・ビジターの皆様、ようこそです。大
箭さん、卓話楽しみです。

安武 勝君 高橋様、平本様、田中様ようこそ。楽しんで
いって下さい。大箭さん卓話よろしくお願ひします。

平賀裕祥君 高橋様、平本様、田中様いらっしゃいませ。
各表彰の皆様おめでとうでございます。大箭さん卓話よろし
くお願ひします。

宇野雅仁君 高橋様、平本様、田中様ようこそいらっしゃ
いました。本日の卓話、大箭会員楽しみにしております。
大森竜太郎君 残念なのですが、クリスマス例会に参加す
ることができませんので、皆様とお会いできるのが今年最
後となるかもしれません。大変お世話になりありがとうござ
いしました。そして来年もどうぞよろしくお願ひ致します。

上原幸作君 高橋様、平本様、田中様ようこそ。表彰の皆
様おめでとうでございます。大箭さん卓話よろしくお願ひし
ます。

島崎英之君 高橋さん、平本さん、田中さんようこそお越
し下さいました。表彰の皆様おめでとうでございます。大箭
さん卓話楽しみです。拝聴させていただきます。

榊 謙二君 大箭様、卓話よろしくお願ひいたします。

[本日 23件、29,000円です]

俳句同好会 (十二月句会より)

小山里枝様(津久井中央 RC)
霜やけを摩る痛さも母の愛

新年や 父とパズルと酒二升
佐藤省三様(相模原西 RC)
正月を 指折りかぞえ庭そうじ
紅葉や 一つのまにかと 散るもみじ
大箭剛久

寒鯽やとぷりとぷりと手酌酒
見ずに済むものは見ぬふり炬燵猫
木村信一

江の島や ほぼさす風に 初日の出
年新た 日々新風に 吹かれつつ
中山富貴子

青海波立てて 鷺ゆく明けの春
せいがい
冬の花舞散らす夜半の風

卓話 大箭剛久会員

『3年間の目標と計画 3-year Rolling Target / Plan』

皆さん、こんにちは。しばらくお付き合いの程、お願ひい
たします。

今年度のステファニー・アーチック RI 会長の掲げる 3
Year Rolling Target を受け、当クラブでも杉田会長の意
向で、岩澤会員を委員長とする「みらい計画委員会」が立
ち上げられました。これまで「ロータリーは単年度制」と
いうことが広く言われてきましたが、もう少し長い目で
クラブの将来を見据えた長期計画を作っていこう、とい
うことです。当クラブでもここ数年で何人かの新会員の
皆さんに入会していただき、それぞれにクラブに馴染ん
でてもらっていると思いますが、本日はこのテーマに
ついて考える時間にしていただければと思います。

続きは別紙にてお読みください

こちらは、鎌倉時代に書かれたとされる鴨長明の随筆「方丈記」の冒頭部分です。「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある、人と棲（すみか）と、またかくのごとし。」とあります。これを現代語に訳すと「流れゆく川の水は絶え間がなく、しかも常に入れ替わっている。淀んでいる水面には泡が消えたり、結びついて大きくなったりするが、そのままとどまっている例は無い。世の中の人的一生もこれと同じようなものだ」ということになります。

この方丈記が書かれた背景には、当時の社会情勢、元暦の大地震や飢饉、竜巻などの天変地異や大火事による厄災が続いたことによる無常観があるようですが、そういったことを抜きにしても、人の世というのは、その長い歴史の中で、人々が同じような生活の営みを繰り返しているように見えるけれども、常に代替わりがあり、何代もの世代にわたって受け継がれてきている、という解釈もできます。

世の中には継続の重要性に関する言葉が数多くあります。とりわけ皆さんもよくご存じだと思うのが「継続は力なり」、長くやり続けることが成功への道につながる、ということです。スポーツ選手などを見ていると、とにかく本人が前向きで、常に頂点を目指して頑張ってきた人がいるかと思えば、一流と呼ばれる選手でも、小さい頃から英才教育を受けて、本人はもう嫌だと思うこともあったでしょうけれども、とにかく親がお尻を叩いて続けさせて、結果的にオリンピックのメダリストになっているような人もいますなど、人により様々だと思ったりもするのですが、実際のところ、一つのことを長く続けていくということはなかなか大変なことだと思います。

ただ、私個人的には、個人が一つのことを長く続けていくことと、組織が永続するということとは別の意味があると思っています。

企業30年説というのがあります。革新的なヒット商品を世に送り出し、一世を風靡するような企業でも、30年の間には時代の変化とともに商品が陳腐化してしまったり、世の中に必要とされるサービスを提供できなくなって、その使命を終えざるを得なくなってしまうということです。私も若い頃に、世の中に必要とされない企業は生き残れないと教えられたことがあります。まさに世の中に必要とされ続けるためには、変化をいとわずに時代についていかないといけない、ということだと思います。そう言えば、サザンオールスターズが勝手にシンドバッドで1978年にデビューして以来、今年で46年目と息の長い活躍を続けています。デビュー当時、まだ私が中学生でしたが、当時人気だったバンドにアリスや世良公則とツイストなどがあり、どのバンドが一番長く続くか、などと話し合っていたことを思い出します。当時、私はアリスが一番好きで、サザンも決して嫌いではありませんでしたが、正直なところサザンは真っ先に消えるだろうと思っていましたので、今に至るまで第一線で活躍し続けているというのは、地元民として嬉しい誤算でした。そんなサザンオールスターズもなぜ長続きしているのかについ

ては、桑田佳祐がマンネリ化を嫌い、幅広い曲調やテーマの楽曲を作っていることで、「自らの枠を壊していく革新性」がベースにあるということが言われています。本人たちが継続性を意識していたかどうかは分かりませんが、結果的にはやはり変化を恐れずにチャレンジしていく精神が根底にあり、それが息の長い活動に繋がっているのだと思います。

中国の帝王学の書と言われる「貞観政要」に出てくる言葉で「創業は易く守成は難し」というものがあります。「何事であっても、物事を新しく始めることは容易だが、すでに出来上がっている事を引き継いで、衰えないように守っていくことは難しい」という意味に捉えられがちですが、実際には唐の2代目の皇帝である太宗皇帝が、家臣たちに対し、創業と守成とどちらが難しいかと問うたという故事から来たものです。創業のために大変な働きがあった功臣は、創業の難しさを強調しますが、新しく加わった魏徴（ぎちょう）という家臣は、創業時には創業に駆り立てる理由があるが、守成にはそれがなくなり、どうしても怠惰に流れがちになるため、守成の方が難しいのだと説きます。太宗は、創業時の功臣の働きは十分理解した上で、創業が成ったこれからは、守成を重んじなければならないという判断を下します。

貞観政要のこの話には続きがあり、太宗が群臣に向かって「名君と暗君というのは、どこで違ってくるのか」という質問する場面が出てきます。答えたのはやはり魏徴で、両者を分けるのは「聞く耳」をもっているかどうかだと進言します。暗君は自分の聞きたいことだけを言ってくれる臣下としか話さず、諫言する家臣を遠ざけたりします。周りが遠慮して「お耳に入れない」よう忖度する場合も多くなります。創業者なら、共に苦勞した仲間がダメ出ししてくれるかもしれないが、守成を行う場合はよほど精力的に情報収集に努めなければ、材料が集まらないという事態に陥りがちです。それを「兼聴」という言葉で表し、どんな人からも広く意見を聞き、自分の知らないことを尋ねる姿勢を強調しました。今、世界各国のトップに居並ぶ方々に、是非聞かせてやりたい言葉だと思います。

どこの組織でもこれと同じことが言えると思います。皆さんの会社もそうですし、この茅ヶ崎ロータリークラブも、今となってはチャーターメンバー、つまり創立に立ち会った方は残っていらっしやらないですが、ご存命の中のお話を語り継いでいただいている諸先輩がいらっしや、当時の方たちの想いや、茅ヶ崎ロータリークラブがどのような活動をしてきたのかを聴くことができるというのは、私は非常にありがたいことだなと感じます。その上で、組織を継続させていくためにはやはり新陳代謝が必要であり、伝統的なものをベースに持ちつつ、新たなものを取り入れながら発展させていくこと、これこそが組織を継続させていくために最も心していくべきことなんでしょうと思います。新しく入ってこられた方たちに、何年か先にはクラブの中心となって活躍してもらえるように、ベテラン会員がサポートしていく、そういう形が理想的なんでしょうと思います。それは一朝一夕にできるのではなく、きちんとした計画に基づいて進めていかなければ

ば、なかなかうまくゆくものではありません。その意味でも、年度ごとにブツ切れにするのではなく、3か年程度の計画を立てて、それぞれの年度でやるべきこと、継続して実施していくべきことなどをみんなで共有するというのが重要になってくるのではないかと思います。

ポールハリスの言葉に「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう」というのがあります。記録によると1935年にこの言葉が語られたとありますので、すでに90年近く前から国際ロータリーは変化への対応を謳ってきていると言えるでしょう。今年度のステファニー・アーチック会長の指針は、それを補完するためのものであり、組織である以上、全てのロータリークラブがいずれは直面するであろう問題への一つの処方策が提示されたと認識すればよいのではないかと思います。というよりも、実はこの課題は決して今に始まったものではなく、国際ロータリーは2004年にクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）を採択し、クラブごとに「戦略計画」を立てることを推奨しています。その中で呼び掛けられたことが、

1. クラブの発展に繋がるような長期目標を立案する。
2. 長期目標を支える年次目標を設定する。
3. クラブ協議会などの会合を通じて会員全員がクラブ活動に参加していることを実感出来るようにする。
4. クラブ内及び地区との情報伝達をガバナー補佐や地区委員を通じて円滑に図る。
5. 年度から年度への継続性を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ。
6. 独自のクラブ運営が反映出来るように、クラブの長期計画や細則を適宜修正する。
7. クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや奉仕活動に活発に関与するように計画する。
9. 会員に対する包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する。

この当時のことは私も入会前でしたので詳しくは存じ上げないのですが、いずれにしましても、人というものは何であれ「喉元過ぎれば熱さを忘れる」と言いますか、その時は一所懸命にやったことでも、時の流れとともになおざりになってしまう傾向がどうしてもあるので、やはり一定期間ごとに見直しをする機会を設けていけないのではないかと思います。当クラブでは2018-19年度、岩澤会長の年度に特別委員会として「クラブ戦略計画策定委員会」を立ち上げ、現会長の杉田委員長のもと、戦略計画の策定に取り組みました。当時は伊藤会員や杉本会員のお父さんら、初期の当クラブのことをご存じの会員もまだご存命であり、今思えば次の世代にバトンを渡していく最後のチャンスだったと思います。この時の委員会の資料を杉田会長からご提供いただいているので、こちらに沿ってどのような取り組みをしてきたかを振り返ってみたいと思います。

まずは策定までのステップです。全5回の卓話の時間をいただき、趣旨説明・策定プロセスの共有に始まり、数回のアンケート、テーブル毎のワークショップによる会員の関心分野の抽出、他クラブの事例調査などを踏まえて長期目標の設定、ビジョンの策定へと進めていきました。アンケートの内容については、こちらにある通りです。当クラブでの各種活動で興味のある項目を5つまで選んでもらう設問では、①会員相互の親睦、②地域での奉仕活動、③卓話の充実、という項目が上位を占めました。以下、④活動を通じた研鑽、⑤職業奉仕の探求、⑥会員の多様性、⑦クラブの認知度・イメージ向上、⑧例会内での楽しいイベント、の順となっております。分野ごとに分類してみたものがこちらの円グラフです。奉仕が32%でトップ、親睦が次いで25%、以下、例会23%、公共イメージ11%、会員増強9%といった具合です。

次の設問では、3-5年後にどんなクラブになると良いかを訊きました。トップは、茅ヶ崎RCの会員として志と誇りを持っている、②自らクラブに入りたいという志望者が増える、③これぞ茅ヶ崎RCという看板事業がある、というのが上位で、以下、④多様な会員との交流、⑤地域社会でリーダーシップを発揮できる組織、⑥適正な引継ぎにより経験・ノウハウが蓄積される、⑦他クラブとの交流を深め、見識を広げる、⑧例会内で幅広い交流ができる、となっております。これも分野別にまとめると、クラブとしての在り方に着眼したものが38%と一番多く、以下、奉仕25%、親睦17%、会員増強14%、公共イメージ6%という順でした。

当クラブの長所と課題について聞いてみた設問では、クラブの伝統や品格を重んじているところ、会員相互の親睦、女性会員が活躍している、出席率がとても良い（当時は常時90%をキープしていた）、ベテラン会員から話を聞ける、例会活動による自己研鑽、例会での楽しい交流・相談、会員に地元の有力者が多い、和やかな楽しい雰囲気といった項目が長所として上がる一方、地域（茅ヶ崎市）にどのように貢献しているのか、あまり見えてこない、会員の維持、ロータリーに対する理解に差がある、引継ぎが効果的になされていない、ロータリークラブの認知度、多様性・柔軟性についての理解、他の協会組織と同じことをしている気がする、大がかりなプロジェクト経験が少ない、ロータリアンの資質・自覚の高い会員の育成といった課題も見受けられました。

続いて、クラブの未来像を一言で表現するとしたら？という設問に対しては、「和をもって貴しとなす」「よく学び、よく奉仕し、楽しいクラブ」「覇気あるクラブ」「規律ある中の親睦」「茅ヶ崎に茅ヶ崎RCという素晴らしいクラブがある（と言われたい）」「多様な会員で毎例会が意義あるクラブ」「ロータリーの基本理念を深く学んだ会員同士の会話のできるクラブ」「街を代表するメンバーの集い」「楽しさ」「一枚岩」「入りたくなる場所」「明るい」「全員参加型明るく活動的なクラブ」「和」「活性化」「勢い」といったワードが並びました。

その他、クラブについて思うことや要望として、「炉辺会合や同好会など、自由な雰囲気で活発にやって欲しい」

「ロータリーに関する書籍や文献に対する知識が少なく、また知る機会も乏しい」「会員の増強より維持が肝要」「クラブのスローガンやビジョンがあっても良いと思う」「このクラブを大好きに大切に思う会員をもっと増やしたい」「委員会の任期を3年程度に定め、時期をずらして徐々に交代すべき」「委員会の各委員の考えが反映しづらい」「イニシエーションスピーチは自分の今までの生きざまを振り返る良い機会だった」「会費の削減」「クラブ協議会を委員会ごとに分かれて話し合う機会にした方が活性化に繋がる」などの意見が上がりました。

こうして出された意見を、ここが良いよねという長所、ここがうまくいっていないんじゃないかという課題、もっとこうしていきたいという希望、こうするとうまくいくんじゃないかという解決策とに分類し、さらにあるべき茅ヶ崎クラブの未来像を奉仕活動・組織・ビジョンの3つの領域ごとに分類していきました。

最終的に、「クラブのスローガンやビジョンがあっても良いと思う」という選出の意見に従って、皆さんからスローガンを出してもらいました。本当に数多くの意見が寄せられた中で、皆さんの声の集約としてまとめたのが、毎週の例会プログラムにも記載されている「理想の未来へ学び・楽しみ・奉仕する！我らが茅ヶ崎ロータリー」という標語です。

この時の委員会では、こちらの表にありますように、今後の計画および実施のフローとして、3年間でやっていくべき事柄まで大まかに取り決めていたのですが、翌年度からコロナの影響もあり、例会すら満足に開催できないような状況に陥ってしまい、検証等ができず仕舞いだったという反省があります。その後、新会員も多く入会していただいております、今年度は正に仕切り直しをしようというところ です。

前回の「クラブ戦略計画策定委員会」からすでに6年、繰り返しになりますが、人も入れ替わり、時代も変わり、価値観も変わってきています。今現在、このクラブを構成している会員の皆さんの声が最優先されるべきだと思いますし、茅ヶ崎RCの未来を決めるのも皆さんです。今年度の「みらい計画委員会」では、これからまた数回にわたり卓話の時間をいただいたり、アンケート等も実施することとなると思います。ぜひ率直なご意見をどしどし聞かせて欲しいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

ご清聴、ありがとうございました。



おおやたけひさ 2013年5月入会
1964年3月10生まれ
株式会社丸越 代表取締役
職業分類：機械機器D
多様性を認め、お互いを尊重し合う
ことがクラブの原動力